

# がわねほんちよう

第29号

H25. 10. 24発行

# 社協だより



## 赤い羽根共同募金運動 実施中！！

私たちにできること。

共同募金にご協力をお願いいたします！  
あなたたちのまちのさまざまな地域福祉のために役立てられています。

清水エスパルスとジュピロ磐田は、赤い羽根共同募金を応援します。

### 赤い羽根共同募金

社会福祉法人 静岡県共同募金会 <http://www.shizuoka-akaihane.or.jp>

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から12月31日まで「じぶんの町を良くするしくみ。」をスローガンに、全国一斉に実施されます。

今年度、川根本町の目標額は、3,251,000円です。（歳末たすけあい募金運動含む）寄付する人も、つくる人も、ボランティア。

地域の福祉活動を支える共同募金に、みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。



（実施主体）

社会福祉法人 静岡県共同募金会  
川根本町共同募金委員会

### ・・・目次・・・

2-4P・・・ボランティアの輪

（就労継続支援B型事業所・デイサービスセンター・  
生きがい対応型デイサービスセンター）

5P・・・日常生活自立支援事業について

6P・・・お知らせ 他

### ・お問い合わせ及び発行元・

社会福祉法人 川根本町社会福祉協議会

＜川根本町福祉センター事務所＞

〒428-0415 川根本町上岸90番地

TEL 59-2315 / FAX 59-4139

メールアドレス(代表) [csw-honk@po2.across.or.jp](mailto:csw-honk@po2.across.or.jp)

ホームページ <http://kh-syakyo.com/>

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金で作られています。

町内では、ボランティアのみなさまにより、たくさんの活動が支援されています。本会の事業所にも多くのボランティアの方に来ていただき、ご支援をいただいております。本号では「ボランティアの輪」といたしまして、ボランティアの方々の活動を紹介します。



フクシ君

## ボランティアの輪 Vol. 1 ～みどりの丘・みどりの丘えまつ編～

特に暑さの厳しい今年の8月に、就労継続支援B型事業所みどりの丘に、赤十字奉仕団の方々が、6日間にわたり来所され、ボランティア活動をしてくださいました。また、高校生が夏休みを利用して来所され、ボランティア活動をしてくださいました。いっしょに作業をしたり、話をしたり輪の中心となって活動していただき、あっという間に時間が過ぎ、楽しく時間を過ごすことができました。



↑ 枝豆とりの作業風景

ボランティア活動を希望される方は、多くいらっしゃるかと思いますが、何かをしたいと思っても、時間が取れない

という方は、話をしながら、お昼をいっしょに食べていただくだけでも構いません。

通所者の方たちは、地域のみなさまがいらっしゃることをいつも楽しみに待っています。

また、わたしたち職員も助け合いの精神のもとに、今後ともなお一層地域に根ざす取り組みを行っていきたいと考えておりますので、みなさまのあたたかいご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

みどりの丘えまつでは、アルミ缶、新聞紙、雑誌、ダンボールを集めています。いつもご協力ありがとうございます。

保管場所が離れたところにありますので、搬入してくださるときは、通所者と職員が、いっしょにうかがいますので、みどりの丘えまつへご連絡ください。よろしくお願いいたします。

(電話56-1733)



### 保管場所

アルミ缶…みどりの丘えまつ (写真左)

新聞紙、雑誌、ダンボール…藤中園茶工場 (瀬沢) (写真右)

※竹倉庫 (高郷) から変更になりました。

## ボランティアの輪 Vol. 2 ～本川根デイサービスセンター・中川根デイサービスセンター編～

デイサービスセンターでは、利用者の方々によりいっそう楽しんでいただけるような行事を企画しています。

8月には「夏祭り」を開催しました。会場作りのため、利用者の方々と職員がいっしょに「祭り」をイメージした飾り付けの会場は、祭りのにぎやかさを演出し、どことなくあたたかな雰囲気を作ってくれました。

当日はボランティア「友銭会」の方、11名が来所され、銭太鼓を披露していただきました。



↑ 夏祭り：盆踊りの様子



↑ 夏祭り：銭太鼓の様子

途中、かき氷を食べながら、ひと休みすると「懐かしいなあ、久しぶりに食べておいしかった。」などと喜んでいただくことができました。

今後も四季に合わせた行事を計画し、地元のボランティアの方々のご協力をいただきながら、より一層充実したサービスを展開していきたいと考えています。



↑ 夏祭り：銭太鼓演奏風景

## ボランティアの輪 Vol. 3 ～生きがい対応型デイサービスセンター編～

川根本町の生きがい対応型デイサービスセンターは、瀬沢（むつみの郷）、高郷（生きがいの郷）、奥泉（憩の家いずみ）の3ヶ所にあります。高齢者が寝たきりや認知症になって、介護を受ける状態にならないよう、生きがいを持ち、健康で自立した生活を続けていけるよう支援をしています。

今年になってから、花の会、草とり、そば作り、ちぎり絵、楽器演奏、わらべ歌等のボランティアの方が、来所されました。

利用されている方々は、ボランティアの方が来られると話がはずんだり、いっしょになって、活動したりすることにより、普段とは違ったあたたかい雰囲気にとっても喜ばれ、たいへん良い表情をされています。



↑ボランティアの方と一緒に会話している様子



↑ボランティアの方と一緒にクラフト製作をしている様子

来所されるボランティアの方々の中には、利用されている方よりも年齢が年上の方もおり、元気に活動されている姿を見て「自分たちもまだまだ頑張らなくては」などといった声も多く聞かれます。ボランティアの方々の多くのがんばりを見ることにより、元気に過ごすことへの励みになっているようです。

生きがい対応型デイサービスセンターでは、利用者の方々といっしょに楽しい時間を過ごし、毎日の生活の中に生きがいを持って生活ができるように、職員一同取り組んでいます。

生きがい対応型デイサービスセンターで、利用者の方々や、職員といっしょに寄り添ってみませんか。心待ちしております。



## 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）のご案内



### Q 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）とは？

**A** 福祉サービスの利用に関する相談に応じ、サービスの選択、契約を支援します。また、料金の支払い、日常の金銭管理等できるだけ不安の少ない生活を送れるよう、お手伝い（援助）します。

### Q どんなサービス（内容）があるの？

福祉サービス利用援助	日常的な金銭管理	書類等預かりサービス
<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉サービスに関する情報提供・助言</li> <li>○福祉サービスの利用・手続きの援助</li> <li>○福祉サービス利用料の支払い</li> <li>○通知の確認などの援助</li> <li>○苦情解決制度の利用・手続き援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年金や手当等の受領確認</li> <li>○日常的な生活費に要する 預貯金の払い戻し</li> <li>○医療費、公共料金、家賃、 地代、税金の支払い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普通預金通帳、定期預金通帳</li> <li>○保険証書</li> <li>○不動産権利書、契約書</li> <li>○実印、印鑑、印鑑登録カード</li> <li>○貸金庫の鍵</li> </ul> <p>※書類の保管だけのサービスはいたしません。 ※預かりのみで、資産運用はいたしません。</p>

### Q どんな人が利用できるの？

**A** 日常生活に不安のある高齢者や20歳以上の障がい者（知的障がい、精神障がい）などの方です。  
なお、20歳未満の方は、保護者の同意が得られる方または、未成年後見人制度を利用している方が対象になります。

在宅生活の方に限らず、施設に入所されている方、医療機関に入院されている方も対象となります。  
※一定の判断能力のある方が対象。（後見人、保佐人との契約も可能な場合もあります。）

### Q 誰がお手伝い（援助）してくれるの？

**A** 実施主体は静岡県社協です。静岡県社協から委託を受けた川根本町社協の専門員が、ご本人とご相談の上で支援計画を作成し、生活支援員がご本人の具体的な支援内容をお手伝いします。

### Q 利用料はかかるの？

**A** 相談は無料ですが、契約後のお手伝い（援助）については、有料（1回1,000円）となります。ただし、生活保護を受けている方は無料です。



## つなげよう！笑顔と笑顔 -たくさんの出会いがありました-

### 【東海地震から子どもを守る防災セミナー】

6月28日、子育て中のママさんを対象に、防災セミナーを開催しました。日用品やアウトドア道具を活用した実践的な防災術や、避難時の正しいだっこの方法について学びました。



↑講演の他、だっことおんぶの方法を実践

### 【“ふれあい福祉 in サマー” ボランティア体験】



↑デイサービスセンターでのレクリエーションの様子

夏休みを利用して、中学生・高校生が、町内の福祉施設でボランティア体験を行いました。

世代や障がいの有無を超えた触れ合いを通して、新たな自分を発見することが、できた貴重な体験となったことと思います。

### 【親子福祉体験】

夏休みを利用して、「福祉って、なんだろう?」、「聞こえないって、どんなこと?」、「年をとって、どんなこと?」、「住みやすいまちって、どんなまち?」の計4回のコースを設け、私たちの身近にある福祉について、親子で楽しく学びました。

みんなが、しあわせにくらせるまちを目指して、自分のできることを考え、活動していきましょう。



↑手話、高齢者疑似体験、ユニバーサルデザインについて体験

## 支援物資をお届けしました！

7月17日～18日に発生した西伊豆町の大雨被害に対し、支援物資のご提供をお願いしたところ、短期間の呼びかけにも関わらず、多くのみなさまにご協力いただきました。

ご協力いただいた支援物資（ほうき50本、バケツ19個、ちりとり19個、皮手袋3双）は、7月30日に西伊豆町社会福祉協議会へお届けいたしました。

みなさまのあたたかいご協力、ありがとうございました。

心あたたまる言葉をありがとうございます。

## 「善意銀行」

平成 25 年 1 0 月 8 日 現在、順不同

### 【寄付金の部】

\*青部区 杉本 忠雄 様

\*匿名 様

### 【寄付物品の部】

\*匿名 様



## 「災害ボランティア講演会」を開催しました！



9月7日、川根本町山村開発センターにて、宮城県南三陸町社会福祉協議会事務局長の猪又氏を講師に迎え、「災害ボランティア講演会」を開催しました。

「負けてたまるか！！震災との戦い」と題し、津波の威力の恐ろしさや、まず自分が助かることが、大切であると話されました。参加された中学生からは、「災害時、自分たちにできることを考えたい」との、積極的な意見も聞かれ、災害ボランティアに対する関心を、高めることができました。